



1ヶ月に1回発行。弘前大学生協の活動をお知らせいたします。

弘前大学生協同組合のホームページは、「弘前大学生協」で検索！

Vol.117

年頭のご挨拶



明けましておめでとうございます。組合員の皆さまにおかれては、つつがなく新年をお迎えのことと存じあげます。こころよりお慶び申し上げます。弘前大学生協理事長としての本年の抱負を申し上げますれば、それは「小さな問題をそのつど解決してゆきたい」ということです。小さな問題が小さいからという理由で先送りにされると、それは大きな問題に育ってゆきます。大きな問題になってから解決しようとする、なかなか解決できないことが、さらなる問題をまねきます。ですから、それが小さな問題であるうちに解決すべく努力いたしたいとおもいます。どんなに小さな問題でも結構ですので、お気づきになったことを仰ってください。

小さな問題であっても先送りせず、そのつどきちんと解決して、組合員の皆さまのキャンパス・ライフを豊かにすることのお役に立てる弘前大学生協でありたいとおもっております。生協職員一同、業務に誠実につとめる所存でございます。組合員の皆さまのご支援をお願いいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

弘前大学生協同組合理事長 山田 史生

AOI 合格者と保護者さまへの早期説明会を開催しました

開催日：12月14日(土)
参加数：111家族 226名
住まい見学ツアー参加数：44家族 88名

今回の説明会は合格者本人を目の前に進める説明会でした。そのため、説明内容（生協、安心プラン、住まい、食生活、学び、将来）も本人が自分事としてとらえられるように、参加型を進め、内容が入りやすいようにしました。参加者の反応も良く、楽しく会を進めることができました。説明会後はミニサポートセンターを行いました。例年、住まいのご相談が多いのですが、今年一番人気だったのがパソコンのブースです。来年度の1年生に提案するパソコンはこれまでと大きく変わります。それに伴い、そのパソコンを活用した学び方を重点的に提案していきます。



今回はご本人・ご家族共に実際に実機を触りながら、大学での新たな学びに興味を持っている様子が見受けられました。今回の反応を受け、サポートセンター営業期にも引き続き新しい学び方の提案を行っていきます。 学生生活アドバイザー 教育学部4年 安田隼也

住まい見学ツアーは西ヶ丘町にある人気物件の「パーシティハウス西ヶ丘」まで徒歩でご案内し、12月に退室してお掃除したてのお部屋をご覧いただきました。今年の見学会では、入居中の理工学部4年生のお部屋もご覧いただき実際学生がどのような生活用品を置いて生活しているのかも見ていただくことができました。今後とも生協では、新入生が新生活が軌道にのるまでしっかりサポートできるよう努めていきたいと考えております。 Sumica 店長 成田明夫



【参加者感想】

- 大学生がどのように生活し、どのようなお部屋に住んでいるのかイメージできた。
- 大学に4年いると、たくさんの物があって広い部屋も狭く感じてしまうことが分かった。

議決事項

第1号議案 2020年 第59回通常総代会について

第2号議案 永年勤続表彰規程の改定について

第3号議案 パートタイマー就業規則の改定について

第4号議案 経理規則の一部改定について

〈追加議案〉

第7号議案 正規職員の採用について

第1号～第4号、第7号議案について すべて全会一致で可決承認されました。



健康安全まつりの報告をする学生委員会 石野くん

審議事項

第5号議案 学生委員会「2020年度新学期活動方針」と取組・企画について

学生委員会より、2020年新学期全体方針と、受験生・新入生に向けての取り組みと企画について提案があり審議しました。

具体的な活動内容に関する質問や、ネットでの情報配信をしてはどうかという意見などが出されました。この議案については、いただいた意見を踏まえて、今後活動を検討していくこととしました。



話し合いの様子

第6号議案 たびshop 2020年度事業政策について

「たびshop 2020年度以降の事業政策」について提案があり審議しました。時間がある学生のうちに海外にいったほしい、実際に旅行に行った学生の費用についての実態を知りたいという意見がだされました。この議案については、提案の通り進めることとしました。

詳しくは弘大生協ホームページ・理事会の議事録・発言録をご覧ください。

NPT再検討会議 派遣者へのカンパ金ご協力をお願い

2020年4月末に国連本部（ニューヨーク）で開催されるNPT（核不拡散条約）再検討会議にあわせ、全国の生協が協力して代表団を派遣します。青森県からは3名、うち1名は弘前大学の学生で保健学科1年 渡邊風香さんです。このNPT再検討会議への参加を通じて、次代を担う若い世代が平和に対する思いを強くすることにつなげたいと考えています。代表を国連本部へ派遣するための費用の支援カンパを行います。ご協力をお願いいたします。

※全国の生協で「平和とよりよい生活のために」という理念のもと、戦争・被爆体験を継承する平和活動「ピースアクション」をはじめ様々なテーマで平和を考え学習する取組を行っています。



【派遣者より】

来年行われるNYでの核拡散防止条約再検討会議に出席させていただけることになりました。私にとっての平和は、世界中の人が毎日を笑顔で過ごせることです。その平和に向けて、なにか少しでも自分で行動したいと思い、今回手を挙げさせていただきました。日本は比較的平和な国なので、原発だとか戦争だとか言われてもどこか他人事のように感じてしまう人が多いと思います。私が帰ってきたらやりたいことは、そのような方にも少しでも世界で起こっていることを身近に感じてもらえるような活動です。現地で見たことや感じたこと、場の雰囲気など、少しでも興味をもっていただけるように努めて伝えていきたいと思っています。

保健学科1年 渡邊風香

今回は、毎月行っているREPセッションの中で企画を立案し、運営や参加者として総代に関わってもらいながら、組合員(総代も含む)に対して、他学部の人と交流を深めつつ、総代の認知度を上げ、身近に感じてもらう。また、企画を通して健康への意識を持ってもらうことを目的にこの会を開催しました。



当日は全員でラジオ体操をしてから、3人一組のチームを作り、大縄跳び、リレー、ドッジボールの3種目の競技を行い、順位と点数をつけて各チーム対抗で企画を進めました。



男女間の差をなくすため多少のハンデをつけながら競技を行ったので、参加者の全員が楽しく交流でき、順位が拮抗して大変盛り上がり、徐々に運動出来て楽しかったという声もあり、楽しんでいるように感じました。また、3種目の合計順位が1、2位のチームには表彰と景品を贈呈し、この企画中最も会を盛り上げたMVPの表彰と景品の贈呈を行いました。

今回は土曜日開催ということもあり、参加者の総数が少なく、組合員の参加が無かったので、来年度以降の総代企画では、たくさんの総代、組合員の参加が見込めるような企画を行い、総代の活動を活発にしていきたいと思えます。

農学生命科学部2年 福島宏太



公務員≠事務?だけじゃないセミナー



公務員を目指すなら、生協の公務員講座の受講を!

公務員というイメージが多いと思いますが、事務「だけじゃない」ことを4つのコンテンツに分けて紹介。ドラマ、映画、小説を引用し、多岐にわたる公務員の仕事を堅苦しくなく、ゆるい感じで30分程度にまとめました。参加者はスライドを見ながら話をしっかり聞き、このセミナーで紹介したいいろんなドラマの中で「これも公務員だ」とか、鶴飼など「こんな仕事も公務員だ」と紹介があり、イメージできた様子です。今回のセミナーでは学生は色々な選択肢があることを得られたと思います。

SHAREA店 学び担当 山田宏美

開催日：11月20日(水)・27日(水)
①15:00~15:45 ②16:15~17:00
場所：食堂Horest内多目的スペース
参加人数：27名(全4回)

公務員講座受講生を始め、周りの学生へ聞くと、公務員=事務というイメージがあまりにも多かったので1・2年生のうちから業務研究を行い、民間企業、公務員、教員などそれぞれが「なりたい」という希望を叶えられるように、公務員=事務仕事ばかりではないことを伝えたいという思いから開催に至りました。



【参加者アンケート】

- 公務員の仕事他にどのようなものがあるのか詳しく聞きたい。自分にはどの仕事があるのかなど知りたい。公務員講座ではどのようなことをするのか聞きたい。【農生・1年】
- 公務員のイメージの幅が広がりました。公務員の仕事について詳しく聞ける機会があればまた参加したいと思えます。【人社・2年】

学生総合共済からのお知らせ

12月の給付状況

病気入院	6件
病気手術	5件
事故入院	1件
事故手術	0件
事故通院・固定具使用	11件
特定傷害固定具	0件
扶養者病気死亡	0件
父母扶養者死亡	0件
計	23件

給付金額

1,154,000円

たすけあいアンケートより

「今回はたくさんの方々に支えていただきました。ありがとうございます。今後私も他の方のお役に立てることがあると嬉しいです。」
 (理工学部4年 ストレス等で下痢症状が続き痔ろうになった。入院11日 手術1回 共済金 160,000円)



台風19号緊急支援募金 ご報告

2019年10月28日～12月13日の期間

弘前大学生協では被災された方々を支援するため、

- 学生委員会からの呼びかけ
- デポジット容器募金
- 店頭募金

以上の義援金活動に取り組みました。

21,210円の募金が集まり、日本生協連を通じて義援金、支援金として活用いただけるよう送金したことをご報告いたします。

たくさんの温かいご支援ありがとうございました。



水道管凍結予防 呼びかけを行いました。



12月9日～13日、学生委員会とSumica職員で水道管凍結防止の呼びかけを食堂Horest内で行いました。

初めての一人暮らしの学生はもちろん、なぜ「水抜き」をしなくてはならないのか、知らない学生がたくさんいます。

- 水道管が凍結したらどうなるのか
- もしなってしまったらどうすればいいのか

ということも合わせてピラを配り呼びかけしました。被害ゼロをめざして今後もTwitter等で続けていきます。

編集後記

クリスマス、「良い子のところにはサンタさんがプレゼントを持って来るよ」いつからサンタさんがプレゼントを持ってこなくなったでしょう。我が家では昨年、小学5年生(当時)の次男が「サンタさんはいなくて、うちの人がサンタさんなんでしょう?」と言い出しました。サンタさんはいる!と思っていたのならきっとそのまま続けたのでしょうか、その時の次男はプレゼントは誰が準備しているのかはっきりさせたい意向だったので、話をして大人の仲間入りをしてもらうことに。もらう側から与える側へ。もらっているのは「物」だけでなくその背景にあることに気付いて欲しかった。大人の仲間入りになり、サンタさんへのお手紙も書かなくなった今年、成長を感じながらも、ちょっとさみしい感じがしました。(SHIMO)